

夜間定時制高校への志願者の変化(一部昼夜間含む)

公立全日制募集定員の削りすぎは明らか

従前と比べて公立全日制高校の定員を1500人削り、私学での受け入れ比率を増やした結果、公立全日制は軒並み高倍率になっていますが、そのシワは2次入試での夜間定時制志願者の大幅増となってあらわれています。公立全日制募集定員の削りすぎは明らかです。

学校	平成25(2013)年度				平成24(2012)年度			
	募集数	後期	2次	小計	募集数	後期	2次	小計
大手前	80	20	5	25	80	45	2	47
桜塚	80	47	5	52	80	46	0	46
春日丘	120	61	22	83	120	74	13	87
寝屋川	120	89	32	121	120	86	31	117
布施	80	56	25	81	80	52	9	61
三国丘	120	57	23	80	120	64	26	90
都島二工(普)	40	8	3	11	40	20	3	23
都島二工(工)	80	38	18	56	80	46	6	52
日新	40	35	3	38	40	30	11	41
岸和田産業	80	52	17	69	80	48	7	55
堺市立(マネジメント)	40	28	6	34	40	21	5	26
堺市立(機械自動車)	80	35	14	49	80	39	10	49
二工芸	120	45	3	48	120	46	7	53
西野田工科	40	21	10	31	80	29	3	32
今宮工科	80	42	5	47	80	53	4	57
茨木工科	80	28	6	34	80	42	8	50
藤井寺工科	120	68	31	99	120	71	5	76
堺工科	80	28	11	39	80	32	9	41
佐野工科	120	61	29	90	120	66	5	71
成城	80	25	18	43	80	42	4	46
和泉総合	80	50	20	70	80	38	12	50
市立中央 普通	160	139	30	169	160	171		171
市立中央 ビジネス	80	65	8	73	80	124		124
桃谷 III部	50	41	3	44	50	25	7	32
合計	2050	1139	347	1486	2090	1310	187	1497